

本委員会の当面の進め方（案）

1. 検討事項

(1) 水中遺跡の調査に関する事項

- ・ 水中遺跡の調査における基本的な考え方
- ・ 把握方法
- ・ 調査方法・体制（探査、発掘、保存処理等）

(2) 水中遺跡の保存活用に関する事項

- ・ 水中遺跡の保存及び活用に関する基本的な考え方
- ・ 水中遺跡の保存方法
- ・ 水中遺跡の活用方法
- ・ 埋蔵文化財包蔵地の設定

2. 調査事項

(1) 諸外国の水中遺跡の保存と活用に関する取組み状況調査

諸外国の取組例の把握として、以下①及び②の観点から場所を選定し、以下③の事項を中心に把握を行う。その際、諸外国調査の一環として、以下④を行う。

①地域的な視点

- ・ アジア地域の国で水中遺跡の調査を積極的に行っている国
- ・ 欧米・オセアニア地域の国で水中遺跡の調査を積極的に行っている国

②取組の考え方の観点

- ・ 遺物の引き揚げを積極的に行っている国
- ・ 遺物の現状保存を優先している国

③調査事項

- ・ 水中遺跡の定義及び定義規定（存在する場合）
- ・ 水中遺跡の把握方法、規制の有無と内容
- ・ 個々の水中遺跡の調査の考え方、取組、実施主体、調査組織の人員体制及び予算、個々の調査時（一般的な事例におけるもの）の体制及び予算
- ・ 水中遺跡や遺物の保存の考え方及び取組
- ・ 水中遺跡や遺物の保存処理の考え方、取組、実施主体、保存処理組織の人員体制及び予算
- ・ 水中遺跡や遺物の活用（展示等）の考え方、取組、実施主体、活用組織の人員体制及び予算

(2) 国内の水中遺跡の把握調査

- ・ 各都道府県市区町村における周知の埋蔵文化財包蔵地としての水中遺跡の認定の考え方と範囲の設定方法
- ・ 開発事業に際しての周知の埋蔵文化財包蔵地としての水中遺跡の取扱い

(3) 史跡鷹島神崎遺跡（及びその周辺）の保存と活用に関する実態調査

- ・ 鷹島神崎遺跡周辺の各種地理的状況
- ・ 調査の考え方、取組、実施主体、調査組織の人員体制及び予算、個々の調査時（一般的な事例におけるもの）の体制及び予算
- ・ 鷹島神崎遺跡や遺物の保存の考え方、取組
- ・ 水中遺跡や遺物の保存処理の考え方、取組、実施主体、保存処理組織の人員体制及び予算
- ・ 引き揚げられた遺物の活用（展示等）の考え方、取組、実施主体、活用組織の人員体制及び予算